

森町を語る会

新たな時代に向けたまちづくり

2021(前半)

令和3年度町の広聴事業「森町を語る会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、出席者を幼稚園・小学校PTAの役員、アクティ母親クラブ代表、民生児童委員代表など、子育て世代の代表者に限定して令和4年1月に各中学校区に分けて開催する予定でした。しかし、オミクロン株によるコロナ感染の急拡大を受けて、開催方式を集合開催から書面開催に切り替えて実施しました。その概要を4月号と5月号に分けて紹介します。

■問い合わせ先

企画財政課広報統計係
☎8516306

テーマは、「子育て世代に魅力的なまちづくり」です。テーマに沿って、子育て世代の皆さんからご意見やご提言をいただきます。

保育園・幼稚園について



天方幼PTA

問 保育園が人気で待機児童が出ているのに対し、幼稚園は人数が少ないです。子供にとつての学びの環境が決まっていないと町外に出て行く人が増える一方です。早めの方針(こども園、小中一貫校を含め)を決めていただきたい。

答 幼稚園及び小中学校の総合教育会議で町の方針が示されました。幼稚園については「変化する未就学児の環境や制度を確認しながら方針を検討していく」としています。子育ての

環境やニーズを踏まえて町の幼児教育のあり方等の検討を進めていきます。

森幼PTA

問 森町でも共働きの世帯が増え、幼稚園の時間だと仕事に間に合わないため、保育園を希望するが入れない

ことがあると聞きます。幼稚園が保育園のように早朝保育を取り入れてくれると保護者も助かります。

答 現在、家庭の事情等により一時的に登園時間前に登園する園児の支援を行っています。支援員の確保を積極的に、定時前の支援をより弾力的に取り組んでいきます。

森幼PTA

問 森幼稚園では当番制の送り迎えを実施しています。当番制があるために働けなかったり、フルタイム

で働いている方は仕事を抜けてきている状態です。時間の制限を気にすることなく働くためにも「送り迎え当番」は廃止していただき、個人での送り迎えにしてほしい。

答 幼稚園の送り方法については、幼児期の発達や小学校での集団登校を踏まえて地区ごとに保護者で話し合っ、集合場所に集まり送り迎える方法で行っています。その中で、預かり保育を利用している保護者や家庭の事情により個別送迎をする保護者もいるのが現状です。送迎方法については、地区や個々の実情を保護者同士が十分に話し合い、決定していくことが望まれます。

アクティ母親クラブ代表

問 用事で子供を預けた場合、預け先が森町

にありません。上の子の用事

で園に行く時、下の子は連れて来ないという園もあります。小さな子を預けられる場がほしい。

答 令和元年度から摩耶保育園で一時預かり事業を始めています。2日前(現在は新型コロナウイルス感染症防止のため1ヶ月前)までの申込みで8時30分から16時30分(17時までの延長可)まで利用可能です。幼稚園では、保護者が小中学校の参観会や医療機関の受診等で子どもを預ける場として教育時間終了後の一時預かり保育を実施しています。下の子を連れての幼稚園参観等については、天方、飯田、一宮幼稚園では託児等をボランティアが行う取り組みを行っています。森、園田幼稚園では保護者持参のおもちゃで遊んだり、園で用意した部屋で遊ぶ等の対応をしています。

放課後児童クラブについて



民生児童委員代表

問 小学1年生から3年生までの放課後児童クラブの施設拡充を図り、職員確保、保護者の費用負担の軽減化などを検討してほしい。預かり時間を融通してほしい。

答 現在、放課後児童クラブは1年生から6年生までを受け入れています。職員の確保は引き続き行っています。保護者の費用負担については、近隣市町の状況を注視し検討していきます。預かり時間は、学校終業時間から17時半までを基本とし、18時までの延長を行っています。さらなる延長が必要かは今後の検討課題とさせていただきます。

中学・高校・大学について



森中PTA

問 森中では、文化部が音楽部(琴部)しかありません。他の文化部(美術部や合唱部等)を選択できるようにしてほしい。

答 部活動の数は、学校規模や教職員数により決まってきます。新しい部を設ける場合は、生徒のニーズを汲みながら、現在ある運動部・文化部をどのようにしていくか検討しながら、決めていく必要があります。

森中PTA

問 高校生の通学ですが、「秋葉バスサービス」は袋井方面に行く本数がそれなりにあり、支障をきたすことは少ないですが、「天竜浜名

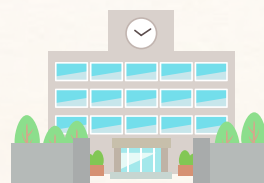
湖鉄道」は掛川方面から森町に帰ってくる時間帯は、子供たちにとっては少し不満があるようです。親にとっては交通費(定期券)の費用が学割適用でも袋井や磐田の学生に比べると非常に高いです。高校・大学に通う子供たちへの通学補助制度を考えていただきたい。

答

天竜浜名湖鉄道では、朝夕の時間帯は本数を増やして運行しています。運行本数が増えれば、利便性はよくなりますが、一方で経費も増大することとなり、県と沿線5市1町で経営支援をしている中、更なる支援が必要となります。ご意見については、天竜浜名湖鉄道に伝えますが、こうした現状があることもご理解いただければと思います。交通費の負担軽減については、県において、高校生の遠距離通学費補助制度がありま

学校教育について

用者の負担軽減のため、片道定期券や平日定期券を導入しています。町としても、公共交通事業者と連携して、利用者の負担軽減策や利用促進策等に取り組んでいきます。



飯田幼PTA

問 「森町に行けば勉強ができるようになる」と言ってもらえるようになることで移住者が増えるかと思いますがどうでしょうか。

答 森町では勉強だけでなく、心や体を含めた「人づくり」に取り組んでいます。森町教育大綱では「明日の森町を築く、心豊かな人づくり」を基本理念として、豊かな心をもつ有徳の人、自ら学び続ける知性ある人、心身ともに健やかな人等を目指し、

飯田幼PTA

幼児教育、学校教育に取り組んでいます。あわせて、学校支援員の充実や教室へのエアコン設置、児童生徒へのタブレットの設置等、教育環境の整備に取り組んでいます。

問

中学校で英語検定と漢字検定が行われなくなってしまう、大変残念です。袋井市では1,000円で英検を自校で受けられるのに対し、森町は補助が何もなく、つままで行き検定料は7,000円でした。

答 町内の学校を会場として英語検定試験等を行っていましたが、現在は実施していません。今後、町内で英語検定や漢字検定を実施する場合、学校以外の会場の利用や試験監督員の委託等について検討していきます。